



山東小校区の妖精さんたち②

昨年の学校通信で、山東小校区にはたくさんの妖精さんたちがいらっしゃるというお話をしたことを覚えていますでしょうか。今年も妖精のみなさんはご健在です。

左の写真は通称「けんつき坂」とよばれている通学路で、道幅が狭いうえに、すぐに落ち葉がたまって歩道の白線が見えなくなる場所です。しかし、いつもいつの間にかきれいに掃かれていて、写真のように子どもたちが歩く歩道がきれいになっています。聞くところによると、朝6時くらいに子どもたちの通学路をきれいにしてくださっている方がいらっしゃるそうです。

もちろんここだけではありません。毎朝横断歩道に立って子どもたちの安全を確保してくださる方、北区役所にはたらきかけて通学路の整備を推進してくださる方、子どもたちの下校時刻に見回りパトロールをしてくださる方など、山東小学校には、見えないところで子どもたちの安全のために動いてくださる方々が本当にたくさんいらっしゃいます。

おかげで、今年度の1学期も大きな事件や事故もなく、無事に終業式を迎えられそうです。7/14(月)の倒木、停電はびっくりしましたが、九電はもちろん、植木地域整備室の皆さんが迅速に対応してくださったおかげで、学校の教育課程への影響は最小限ですみました。最初は、停電が半日近く続くとの情報もあったため、4時間で授業を打ち切り、給食を食べて下校することも検討していたのですが、学校への電力復旧に尽力していただいたおかげで10時過ぎには停電も解消し、通常日課で過ごすことができました。また、倒木撤去と同時に、周辺の樹木も伐採していただき、次の日から通常登校もできるようになりました。

1学期を振り返ってみて、あらためて多くの保護者や地域の方に支えられて学校運営が成立していることを痛感しています。

夏休みも事件や事故に十分気をつけて、子どもたちが元気な笑顔で登校してくることを楽しみにしています。

本年度1学期の本校教育活動への皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

重藤 照文先生 ありがとうございました

本校2年1組担任の重藤照文先生が、育休代替の任期を終え、8月24日付で本校を退職されます。子どもたちに会えるのは1学期終業式が最後となります。

重藤先生は得意のギターで子どもたちと一緒によく歌を歌われ、楽しい学級経営をしてくださ



いました。本当にありがとうございました。

2学期からは前田愛実先生が2年1組担任として育休から復帰されます。前田先生もとても明るく、丁寧な学級経営をしてくださいます。どうぞよろしく願いいたします。

PTAの存在感

緒続 PTA 会長名でスグール配信があった通り、猛暑に対応するため、日傘を使用してもよいようにしました。守っていただきたい使用上のルールもあわせてお伝えしてあります。

今回の日傘使用については、7月7日（月）第2回PTA連絡会で相談があったため、即決できました。今年の猛暑に対して、学校でも日傘使用について検討していたこともありますが、やはり、個別の相談ではなく、PTAからの相談という点が即決につながりました。もちろん、個別の相談も丁寧に対応しますが、PTAという組織からの相談は存在感が非常に大きいですし、学校側からもルールの徹底等についてお願いがしやすいです。

PTAは任意の団体であり、参加についてはそれぞれの保護者の判断にゆだねられています。ただ、学校としてはPTAの存在感はとても大きく、頼りになる団体です。PTA総会でも説明があった通り、山東小は多くの点でPTA活動に支えられています。

今回の日傘使用についての相談や、「山東小のくらし」についての決まりも、PTAを通して相談があると非常にスムーズに進むことが多いです。なぜなら、PTAとして協議した上で学校への相談になるので、バランス感覚のある判断がしやすいからです。

山東小には現在150人のお子さんが在籍しています。それぞれに大切な個性をもち、必要な支援や対応が違います。保護者の願いも同じで、150人それぞれに願う子どもの幸せがあります。ただ、150人ばらばらに願っても、その成就是難しいです。やはり、150人という集団の中では、互いに譲り合いながら、150人それぞれが幸せになれる道を探求しなければなりません。子どもたちはそうやって集団生活に必要な智慧を習得していきます。保護者の願いも同じです。そんな、みんなが幸せになる道を探す手助けになるのもPTAです。

執行部を中心に、様々な保護者の方が、よりよい山東小PTAであるために日々奮闘されており、その姿には心から頭が下がります。山東小の子どもたちの素直さは、このような保護者の皆様の願いを受けて育まれているのだとつくづく感じます。

今後も、保護者の皆様のご理解とご協力の程何卒よろしく願いいたします。

生活リズムの整った夏休みを

7月11日（金）健康委員会が中心となって学校保健委員会がありました。今回のテーマは昨年度のテーマを引継ぎ、さらに進めた「自分大事！メディアコントロールにすすんで取り組もう」です。子どもたちにとってメディアは今後もなくてはならないものになっていくでしょう。しかし、メディアの使用に関しては、自分の身を守ったり、偽情報に流されたりしないようにすることはもちろん、他人を傷つけることがないようにしなければなりません。メディアの問題というより、使う人間の問題といえます。また、メディアでは人の気持ちは伝わりません。負の感情ばかりが増幅されて思わぬトラブルの元になります。

子どもたちにはメディアを賢く使いこなせる人になってほしいと思います。そのためには、メディアに振り回されるのではなく、メディアをコントロールできるようになることが重要です。夏休み期間中はぜひ、メディアコントロールに挑戦してほしいです。

詳しくは保健だよりをご確認ください。

